

9. アカデミックハラスメントおよびセクシャルハラスメントについて

Q37 学内でセクシャルハラスメント（セクハラ）やアカデミックハラスメント（アカハラ）の被害にあったことがありますか [択一]

95.7%の学生が学内でセクシャルハラスメント（セクハラ）やアカデミックハラスメント（アカハラ）の被害にあったことは「ない」と回答し、2.5%の学生が「ある」と回答した。また「セクハラやアカハラの意味を知らない」と回答した学生は0.5%であり、これらの言葉はほぼ完全に認知されていると言ってよい。男女間における相違はほとんどみられない。

2010年度と2015年度の年度別での比較では、セクシャルハラスメント（セクハラ）やアカデミックハラスメント（アカハラ）の被害を受けたことは「ない」割合と、受けたことが「ある」割合に変化はなかった。

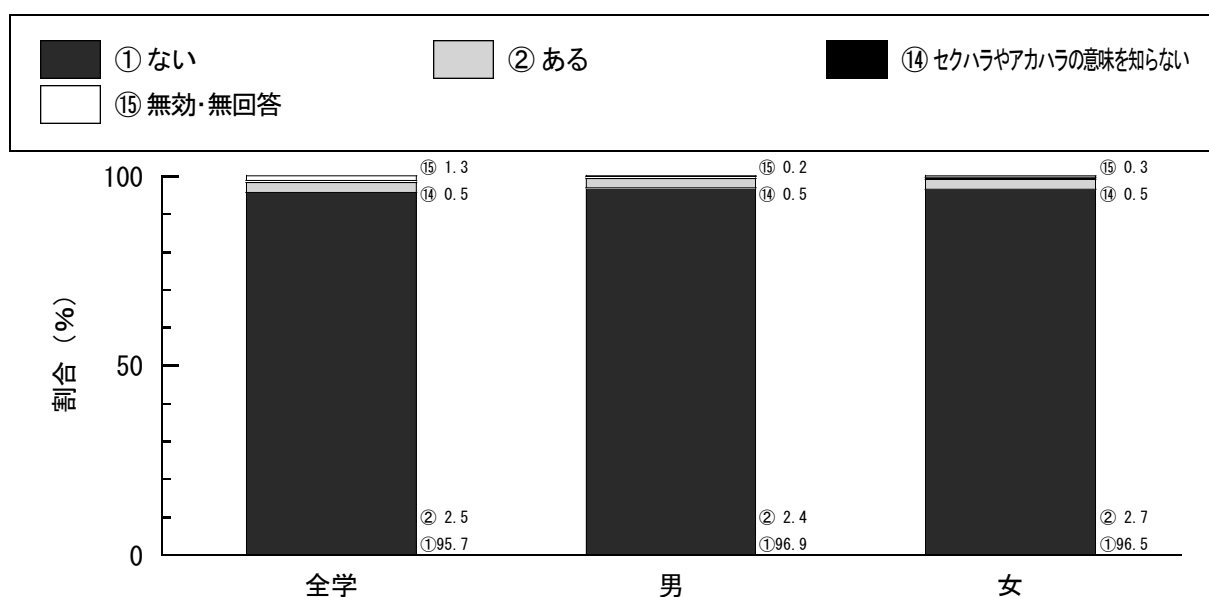


図9-1-a Q37の集計結果（全学・男・女別）

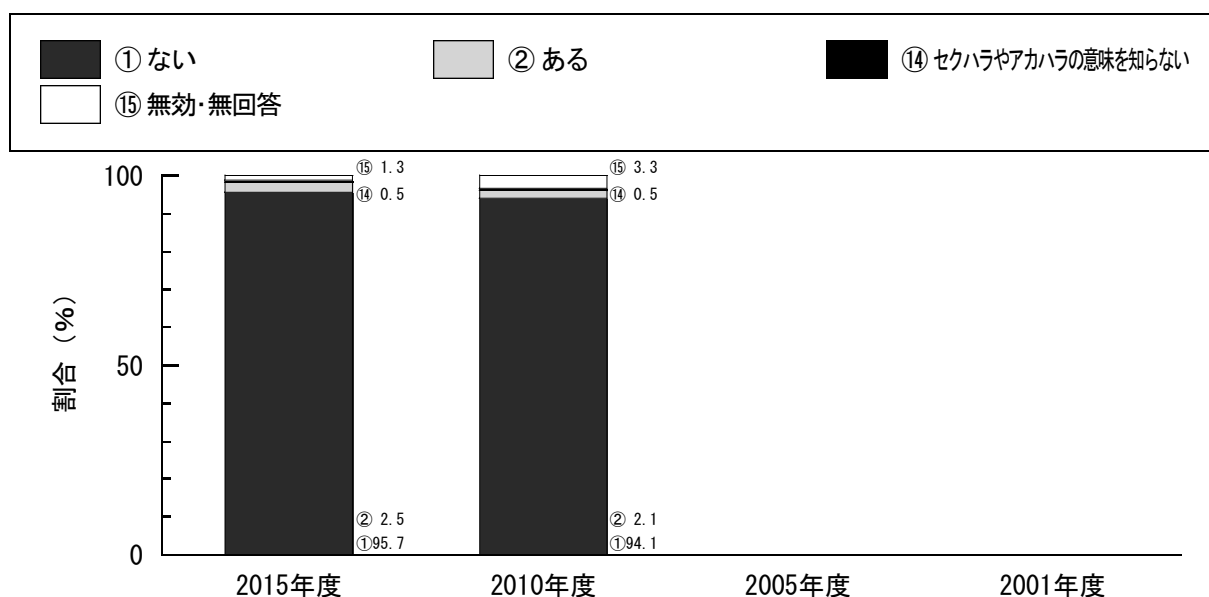


図9-1-b Q37の集計結果（全学に関する調査年度別）

Q37-SQ1 誰からセクハラやアカハラを受けましたか、加害者の身分（属性）はどれですか〔複数選択可〕

セクハラやアカハラの加害者として、最も高かったのは「大学教員」の54.1%、次いで「学生（友人・知人）」18.9%、そして「学生（先輩・後輩）」13.5%、「大学職員」8.1%とつづいている。ただしこの設問に関する回答者数は少ないため、これら傾向は参考的なものである。「学生（先輩・後輩）」からセクハラやアカハラを受けたのは女子学生のみであった。

2010年度においても十分な回答数が得られていないために、参考程度の比較ではあるが、いずれの項目においても値に大きな差異は見られない。

表9-1-a Q37-SQ1の集計結果（全学・男・女別）

	全学	男	女
学生(友人・知人)	18.9	20.0	17.6
学生(先輩・後輩)	13.5	-	29.4
大学教員	54.1	65.0	41.2
大学職員	8.1	10.0	5.9
学外者	2.7	-	5.9
その他	-	-	-

表9-1-b Q37-SQ1の集計結果（全学に関する調査年度別）

	2015年度	2010年度	2005年度	2001年度
学生(友人・知人)	18.9	21.2		
学生(先輩・後輩)	13.5	12.1		
大学教員	54.1	57.6		
大学職員	8.1	6.1		
学外者	2.7	3.0		
その他	-	3.0		

Q38 学内で他人がセクハラやアカハラの被害にあっているのを見たり聞いたりしたことがありますか [択一]

90.5%の学生が、学内で他人がセクハラやアカハラの被害にあっているのを見たり聞いたりしたことは「ない」と回答している。一方で7.7%の学生は「ある」と回答した。男女間における相違はほとんどみられない。

2010年度と2015年度において、両年度ともおよそ9割の学生が学内で他人がセクハラやアカハラの被害にあっているのを見たり聞いたりしたことは「ない」と回答しており、割合に特に変化はなかった。

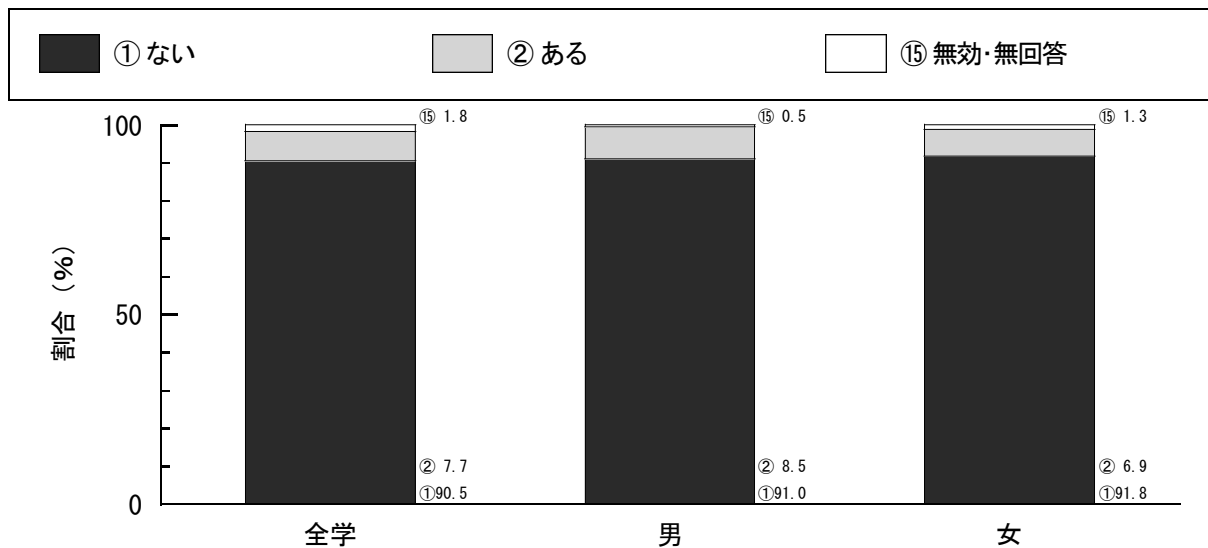


図9-2-a Q38の集計結果(全学・男・女別)

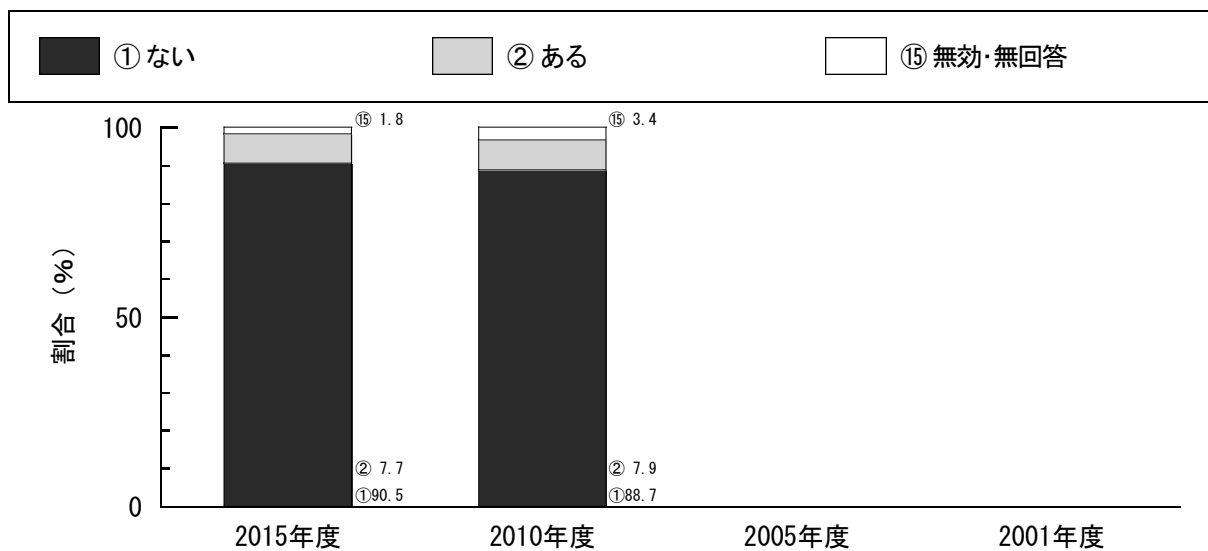


図9-2-b Q38の集計結果(全学に関する調査年度別)